

公表 事業所における自己評価総括表(保育所等訪問支援)

| | | | |
|----------------|---------------------------|-----|------------|
| ○事業所名 | 児童発達支援センター おひさま | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年12月16日 ~ 2024年12月27日 | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 32名 | (回答者数) 19名 |
| ○従事者評価実施期間 | 2024年12月16日 ~ 2024年12月23日 | | |
| ○従業者評価有効回数 | (対象者数) | 6名 | (回答者数) 6名 |
| ○訪問先施設評価実施機関 | 2024年5月17日 ~ 2025年1月15日 | | |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | (対象者数) | 32名 | (回答者数) 32名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年1月18日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 支援終了後に、職員間で必ず打合を行い、情報の共有ができています。 | ・報告書を作成し、園へ行っていないスタッフに対しても子どもの姿が想像できるよう、分かりやすい説明を行っている。 | ・園の許可があれば、園や保育室の写真を撮り、画像をスタッフ間で共有し園の困りごとをみんなで検討していく。 ・必要に応じて一人に対する訪問の回数を増やす。 |
| 2 | ・就学時の移行支援の際に特別支援学校(小学部)との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。 | ・特別支援学校の就学相談へ保護者とともに参加している。 ・移行支援の作成や個別支援計画の共有。 | ・保護者からの移行支援提出以外にも、学校の先生と直接連携していく。 |
| 3 | 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っている。 | ・訪問時の内容を報告書として作成し、懇談時に保護者に伝えている。 | ・前もって保護者や園と、訪問の際の具体的な目的を確認し合う。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|------------------------------------|--|
| 1 | 保育園や幼稚園等での子どもの様子や支援方法、子どもの困り感についての情報が十分でない。 | 保護者からの聞き取りのみで、事前の園側からの情報収集ができていない。 | 訪問前に園への質問(アンケート)を渡し、園での情報を得る。 |
| 2 | 保育所等訪問が継続できていない(1回のみの実施)。 | 保護者からの要望がなかった。 | 保護者にその後の様子を聞き、必要があれば、継続して保育所等訪問を実施する。また、園からの見学や相談を積極的に受け入れる。 |
| 3 | | | |